

★☆☆ワークショップ会場からの報告☆☆★

フォーラム2日目(11/14)の速報は、7名の学生サポーターが作成しました。
2日目は4つのワークショップが開かれました。

ワークショップA(参加者53名)

わがまちをプロデュース! 「男女共同参画の視点で進めるまちづくり」 企画発表



フレンテみえ講座「まちづくり達人塾パート2～まちのプロデューサーになろう!」で立案した企画発表と、昨年度の講座参加市グループ(鈴鹿市、津市、四日市市、亀山市)から活動報告がありました。市民と行政との協働による「男女共同参画」の視点に立ったまちづくりの企画で、家庭生活での男女共同参画の実践を目的とし「婚活」をテーマにした企画(伊勢市)、「自分らしい生き方、働き方を探すこと」を目的に「今後の生き方を考える」講座企画(鳥羽市)、「女性のチャレンジのきっかけづくり」を目的に情報冊子を作成する企画(志摩市)などの発表がありました。参加者からは、行政と市民との協働連携の重要性を認識したとの声がありました。

ワークショップB(参加者34名)

女性研究者の源流を訪ね、 今とこれからを考えよう!



小川真里子さんをはじめ合計7名の研究者の方から女性研究者の“過去”“現在”“未来”と、日本の女性研究者の誕生と活躍、今日の取組まで3部構成でお話がありました。参加者からは、発表される研究者のみなさんのさまざまな取り組みを聞いて「三重県にも女性研究者の開拓者の人物がいたことに感動した」「動機と研究内容は多種多様だが、研究をしようとする強固な意志は共通していると感じた」などの感想がありました。女性研究者はまだ全国的にも少ない状況です。女子中高生の理系進路選択支援事業の取組など、現在のロールモデルとなる女性研究者のお話とともに、次へと続く世代への支援内容が語られました。

ワークショップC(参加者39名)

我が社の自慢 ～人を活かすと企業が伸びる～



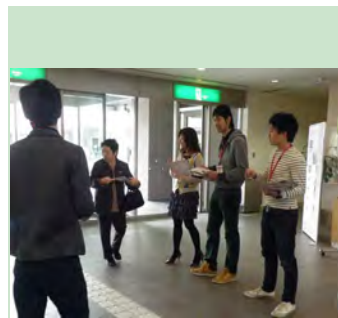
「男女がいきいきと働いている企業」三重県知事表彰を平成19年度から平成21年度までに受賞した10社が参加し、企業の取組について紹介しました。各企業が男性・女性それぞれの特性を活かし、いきいきと働き続けられるための取組について発表されました。社内リサーチであがった「育児休暇を取ると技術力の低下が心配」との女性からの声を受け社内に育児支援のための設備を整備したことや、本人の希望より適正に応じて採用後も職種転換を行っている事などの話がありました。また、現在の取組を踏まえて今後取り組む方向や内容、意気込みなどが発表されました。

ワークショップE(参加者30名)

どうして女性が増えないの? 方針決定の場で



202030(にーまるにーまるさんまる:2020年までに政策方針決定過程への女性の参画を30%)に向けて、特に審議会委員の30%の実現のため、何ができるか考えるためのグループワークが行われました。参加者からは女性の登用率アップのために「足元からの意識改革」「仲間づくり、人材の育成」「クォータ制や公募制などの登用率を上げるための行政の制度の検討」などが必要との声があがりました。グループ発表後は参加者全員からワークを通し明確に見えてきた課題などについて語られました。



2日目はエントランスにて学生サポーターから参加者へ、フォーラム1日目の速報が手渡されました!

カフェ ～子育てパパの大チャレンジ～

フォーラムのお昼時間、エントランスでは男性講座修了生のパパたちが集まり、焼き上げたお菓子とコーヒーを参加者に振る舞いました。来場者は手作りお菓子とコーヒーを飲みながら、「パパちから 毎日発揮



で皆ハッピー」「子育てを悩んで悩んで 親成長」などのパパの考えたメッセージを読みそれぞれ感じた事をパパたちと話し合っていました。

チャレンジショップ

フレンテみえ入り口では、県内各地の農山漁村の起業女性による農産物等の販売が行われました。女性の起業家による野菜やシフォンケーキ、押し寿司や草餅などが販売され、たくさんのお客様たちで賑わっていました。

パネル展示



女性史に登場した女性たちの活躍について、聞き書き調査からのパネル展示が行われました。

各市町の取組の紹介の展示が行われました。



ワークショップD

おとこでも楽しめるナースのお仕事

ワークショップ主催者の都合により中止になりました。

☆☆午後の部(ホールイベント)☆☆

(参加者 248名)

オープニング

ホールイベント(午後の部)は学生サポーターの鈴木さん、松岡さんの元気の司会で幕を開けました。オープニングでは刊行したばかりの『三重の女性史』を映像とともに監修の伊藤康子さん(三重の女性史編さん委員長)に紹介いただきました。5年の年月をかけて調査研究に取り組んできた研究会のみなさんも舞台に並び、フレンテみえと協働して行うこれからの活動についても話されました。



プログラム

- ◇オープニング
- ◇三重県副知事あいさつ
「男女がいきいきと働いている企業」三重県知事表彰式
- ◇基調講演
「『働き方』のこれまでとこれから」
講師：赤松良子さん
- ◇シンポジウム
「今、働き方検証中！」
～一人ひとりが働きやすい社会をめざして！～

「男女がいきいきと働いている企業」三重県知事表彰式

ベストプラクティス賞として井村屋製菓(株)が、グッドプラクティス賞として日本土木工業(株)・(株)モビリティランド 鈴鹿サーキットが、選考委員会奨励賞として(株)前野建築設計・(株)光機械製作所・(株)丸八土建の計6社が選ばれました。井村屋製菓(株)は、女性の採用・職域拡大に積極的であること、法定で義務付けられている以上の子育て支援等の制度があること、そのほか、より働きやすい環境につなげることを目的とした年次有給休暇の計画的取得のための制度を導入したことなどが評価され今回の受賞となった旨、選考委員の代表から報告がありました。



基調講演

「『働き方』のこれまでとこれから」

基調講演では「男女雇用機会均等法」の制定に尽力された元労働省婦人局長の赤松良子さんを講師にお迎えして、「働くこと」についての歴史的な女性の地位向上の取組についてを中心にお話いただきました。国連で採択された女子差別撤廃条約に日本が批准するためには「男女雇用機会均等法」を制定することがどうしても必要だったこと、この法律の制定が、日本の女性の働き方に与えた影響等についても力説していただきました。また、NHK津放送局協力による『プロジェクトX』で赤松さんの活躍を映像でご覧いただきました。



シンポジウム

「今、働き方検証中！」 ～一人ひとりが働きやすい社会をめざして！～

コーディネーターに「ワーク・ライフ・バランス」についてさまざまな機関で積極的な提言を行っている渥美由喜さん(株式会社東レ経営研究所 ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長)をお迎えしました。また、シンポジストには、鈴木里美さん(三重労働局雇用均等室室長)、荒木田豊さん(株式会社百五銀行人事部人事課長)、垣本美和さん(日本土木工業株式会社取締役経理部長)をお迎えし、これからの「一人ひとりが働きやすい社会」を実現していくための課題や必要な取組についてそれぞれの立場から現在の取組を交えてお話いただきました。最後には、渥美さんから「三重県の取組は他県に比べても先進的なものであり、今後の更なる発展のためにはワーク・ライフ・バランスへの取組を深める必要がある」との提言をいただきました。



■学生サポーター：
大原、加納、鈴木、竹島、田中、松岡

交流会

(参加者：40名)

参加者の交流の場としてフォーラム2日目の最後に交流会を行いました。



フォーラムの報告は次回発行の情報誌「Frente」vol. 40(1/20発行予定)

およびフレンテみえホームページでも掲載予定です！